

探究型学習推進協力校 計画一覧（平成29年5月12日現在）

施設名	公開日	日程(予定)	重点教科	研究テーマ	特徴的な取組
山形市立第三小学校	11月17日(金)	午後:授業・分科会 全体指導	国語 算数	ともに学び、豊かなくらしをつくる子どもの育成 ～子ども理解から進める探究型学習(9年次)～	高知県教育委員会事務局学力向上総括専門官の齊藤一弥先生を招いての教材研究会。年3回の全校研(提案授業・事後研究会)。年1回は授業公開(学年部研等)。11月に研究協議会(自主公開)を行い、齋藤先生に全体指導をいただく。外部講師を招いての理論研修会、先進校の視察。
山形市立第五中学校	11月13日(月)	午後:授業・分科会	国語・社会・数学 ・理科・英語	確かな学びの育成 ～言語活動等を通して～(5年次)	前年度までの研究を継続し、言語活動の充実と課題解決型学習を重点とした授業作りに取り組む。本校の生徒及び授業の実態を適切に評価していただき、探究型学習の充実という観点から指導方法の改善を図るため、5教科を公開する。一人一研究授業の取り組みを継続して地道な指導方法の改善に取り組むとともに、先進校を視察して授業力向上の参考にす。研究委嘱期間を通して、全体指導・国語科を三浦登志一教授、社会科を江間史明教授、数学科を市川啓准教授、理科を鈴木宏昭准教授、英語科を金子淳准教授より指導いただく。
河北町立谷地中部小学校	11月29日(水)	・全体会13:20～ ・5校時14:05～ ・講話15:10～	国語・算数 ・総合	自ら学び共に伸びようとする子どもを育てる ～「わかりたい」「かかわりたい」を持続させる探究型の授業づくり(3年次)～	山形大学の野口徹先生に指導・助言をいただきながら、子どもが主体的・協動的に学ぶことができる「単元計画の工夫」「課題設定の工夫」「かかわりたくなる場の工夫」「評価の工夫」について研究を深め、探究型の授業改善に取り組んできた。3年次の今年度は、探究型学習の土壌づくりとして、学級経営や学習習慣についても意識して取り組んでいく。
河北町立河北中学校	11月17日(金)	・5校時13:30～ ・分科会14:30～ ・講演15:40～	国語・数学 社会・理科 保健・英語	自ら学ぶ意欲を高め、生き生きと学ぶ生徒の育成 ～主体的・協動的な学びのある授業を通して～	山形大学の江間史明先生を定期的に招聘し、「生徒の主体性」「協動的な学び」についての研修を深める。2年間の成果と課題を分析し、研究の視点を再吟味し、目指す生徒像を更に明確にすることで、授業改善のポイントをより具体化していく。主体的な学びの実現を目指し、単元を見通した授業づくりの研修を行う。単元の構成や課題の吟味、振り返りの場面など、教科の枠を超えて、共通した授業づくりを実践し、ねらう生徒像に迫っていく。思考力・判断力・表現力を育むために、山形県教育センターから出された「思考の素」をどのような場面でのように活用することが効果的か追究していく。校内での授業研究会や校内研修会で、成果と課題を明確に共有し、更なる授業改善に取り組んでいく。
村山市立楯岡小学校	11月17日(金)	・2校時10:00～ ・3校時10:55～ ・全体会11:50～ ・分科会13:30～	算数	人・もの・自分とかかわり 学ぶたのしさを実感する子どもの育成 ～探究的な学びを生む指導の工夫～	昨年度までの2年間は、算数科において体験を通じた実感を伴う学習、日常生活に問題場面を見出し、解決後再び生活に戻す学習により、児童が自分ごととして問い続ける主体的・協動的な学びを目指してきた。今年度も算数科を通して探究型学習に取り組み、「考える力(知恵のたね)」をつけることを研究の中心に据え、児童の変容した姿から授業を振り返っていきたくと考えている。
村山市立楯岡中学校	11月24日(金)	・公開授業12:45～ ・全体会13:50～ ・講演会14:40～ ・分科会15:55～	国・社・数・理・英 音・美・技家(技術)保健	確かな学びをつくる授業の工夫 ～アクティブ・ラーナーの育成を目指して～	今年度3年目の授業公開は、全教科全クラスで実施。3つの視点(視点1:主体的な学びの工夫 視点2:対話的な学びの工夫 視点3:深い学びの工夫)からアプローチして、確かな学びを育成していきたい。視点3については、今年度から新たに設定した視点で、現在研究を進めている。また、カリキュラム・マネジメントを意識し、各教科間での情報を共有しながら、資質・能力の育成を図っていきたくと考えている。
新庄市立新庄小学校	10月6日(金)	午後	全教科・領域	進んで関わり、互いに高め合う児童の育成 ～教科等の本質を大切にし、学び合い、支え合う授業を目指して～	全教科・全領域で、「学ぶ意欲が高まる単元構成の工夫」「教科等の本質を捉えた課題設定の工夫」「学びを深めるための工夫」を視点にした研究を進める。10月に全ての学年から1授業ずつ公開授業をし、主体的・探究的・協動的な学びの実現をめざした授業づくりについて検証する。年間1人2回の授業公開を行い、単元構想、指導案作成の段階から指導主事と共に検討会を行い、授業づくりを進める。事後研究協議会では子どもの姿から、ねらいを達成したか確認していく。また、定期的に山形大学の森田准教授を招き、子どもの学びについて研修を行う。今年度は、小中一貫を視野に入れた研究の構築・推進を目指している。
新庄市立新庄中学校	10月6日(金)	午後	全教科・領域	進んで関わり、互いに高め合う生徒の育成 ～教科の本質等を大切にし、学び合い、支え合う教室を目指して～	小学校とテーマ、視点を合わせて小中一貫を視野に入れた研究の構築・推進を目指している。レベルの高い課題を設定し、グループ(3～4人)による学び合いの中で課題解決を図っている。生徒の主体的な学びを保障するために、テキスト・資料等を「戻る場所」として用意している。このような授業の中で本県がめざす「探究的な学び」が行われると考えている。研究の内容「生徒同士の支え合う関係を作るための教師の役割」に加え、昨年度から、小中一貫による共通の研究視点「学びの連続性を大切に単元構成」を位置付けている。年間10回の授業研究会を行い、山形大学の江間教授、森田准教授、また、学習院大学の佐藤学教授を助言者として招聘する。
米沢市立興譲小学校	10月6日(金)	午前:授業・全体会 午後:分科会・全体指導(予定)	算数科	主体的に考え表現する子どもの育成 ～一人一人の思考力・表現力を育てる学び合いのある指導の工夫～	長年取り組んできた学び方学習を軸に、より主体的・協動的な学びをめざす。算数科の授業を窓口とし、学び合いの場を設定し、児童が互いの考えを交流する中で深め、高め合い、課題を探究していく。また、児童が主体的に考え、友達と学び合うために必要な数学的表現力を育成し、活用させていく。特別支援学級を含め、年3回の授業研究会と10月の公開研究会を予定している。
米沢市立第一中学校	11月15日(水)	午後(予定)	全教科	学ぶ喜びの実感 ～主体的・協動的な学習を通して～	全教科を通じて自分自身のよさや力に気づき、協働して課題解決しようとする生徒を育成していく。今年度は話し合う活動を通じて自分の学びが深まっているという実感を持たせるために、授業、生徒指導面での教師力の向上をめざす。具体的には、話し合いの目的を明確にして学びの必要感、意欲を感じられるような課題設定の工夫、発言を広げる、まどめと振り返りを工夫していく授業展開をすすめる。本校の学校経営上の重点課題として、生徒相互のかかわりを深め、協働して活動できる生徒の育成、探究型学習をとおして主体的な学びを身に付け学力向上に自らつなげる生徒の育成を掲げ取り組んでいく。年3回の授業研究会を予定している。
長井市立長井小学校	11月22日(水)	9:35～12:20 (授業)	国語・社会 算数・理科 特別支援教育	自ら学び、共に広げ深め合い、いのち輝く子どもの育成 ～探究型学習を通して、考える力の向上に向けた指導の工夫～	教科・領域部会ごとに研究主題及びねらいを受けた「各教科の研究の視点」を明確にし、授業研究を中核に据えた実践研究及び研修を進め、手立ての検証を行う。児童一人ひとりが主体的に学ぶ単元構成の工夫、追究活動や交流活動の設定と教師のかかわりの工夫を視点として研究を進める。昨年度までの研究の成果と課題を受け、今年度は、「振り返り」と「対話」を重視し、「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」を通して授業改善を図りながら、「考えを深める」ための研究を進めていく。研究が子どもの考えの高まりや教師の指導力の向上につながっているかを評価するため、PDCAのサイクルを重視する。事後研で話し合われたことをもとに効果的な視点を見出し、日常授業につながるまどめを行っていく。年4回、市川啓氏を招聘し、探究型学習や本校の研究について指導・助言をいただき、研究を深めていく。
長井市立長井南中学校	11月15日(水)	午前:授業公開 午後:分科会・全体会	全教科 (11月公開は数学・家庭科・道徳)	関わりの中で、主体的に課題解決をめざす授業づくり ～子どもの学びの姿から考える～	全ての教科で探究型学習が有効な単元を検討し、単元ベースのカリキュラムマネジメントを行い、年間指導計画に位置付ける。2学年の総合的な学習の時間「だしがや楽校」と美術・国語・社会との関連など、教科を越えたカリキュラムマネジメントを行い、実践する。また、校内研究の方向性に沿った個人研究プランを作成し、全員で研究実践を積み上げ、年度末に個人研究実践集としてまとめる。全校体制の授業研究会を年3回実施するとともに、外部にも公開し、実施後に研究協議会を行う。早稲田大学の小林宏己先生を年3回招聘し、子どもの学びの姿から授業を考える視点で校内研修を進める。事後研の持ち方を工夫し、「個の学び」が成立するための生徒の見取りと手立てを検討する。
鶴岡市立朝陽第一小学校	11月22日(水)	午前:授業公開 午後:分科会・全体会	(公開は) 国語・社会	学びを広げ深める子どもをめざして	日常の授業の中で「単元担当表」「伝え合う力を高めるために」「有効に図書館を活用し、学びを深めるために」「児童の学習のための情報リテラシー」を踏まえた授業実践とする。日常的に担任と図書館スタッフとの授業に向けた効果的な連携を図る。校内授業研究会を年間5回実施する。授業研修会では、学年の3学級の学習進度をずらして公開し、単元の授業の流れが具体的にわかるようにする。各回指導者を要請する。特に長年にわたり本校研究に関わって下さっている方については、指導に限らず、講話の時間を設けている。
鶴岡市立鶴岡第三中学校	11月15日(水)	13:30～公開授業 14:35～全体会 15:40～分科会	全教科 (公開は国語・社会・数学・理科・英語・保健・特別支援)	「関わりを持ち、お互いに高め合う生徒の育成」 ～主体的・協動的な学びによる課題解決学習を目指して～	教育活動全体において、生徒どうしがお互いの多様な考えに会い、練り合い、ともにより良い考えをつくり出していこうとする質の高い関わり合いのあり方を探っていく。そして関わり合う力を育てることで、思考力や表現力も含めた学力向上へとつなげていきたい。先進校等への視察を予定。
酒田市立南平田小学校	10月12日(木)	午後	生活 総合	「探究」する力を育てる授業づくり	今年度は、課題を解決する力を高めるための支援のあり方に重点を置く。年間6回の授業研究会の内、1回を公開する。山形大学地域教育文化学部野口徹先生より、6月と10月にご指導をいただく。
酒田市立第三中学校	11月16日(木)	午後:授業・分科会	国語・数学 社会・理科 保健・英語	主体的に学び、高め合う生徒の育成	昨年度までの課題を踏まえ、自ら課題を設定し、より高い学びを追究できる生徒を育成するような探究型学習の研究を進める。生徒の主体的な学習活動につながる単元構成の工夫を図る。協動的な学びにつながる場面を設定し、思考力・判断力の育成につながる。教科の公開授業研究会を実施する。山形県学力等調査の分析を丁寧に行い、本校における探究型学習の課題を明確にした上で授業改善に役立てる。校内授業研究会を6月と9月に実施する。首都圏の先進校への視察を予定している。
山形大学附属幼稚園	6月2日(金)	午前:公開保育 午後:パネルディスカッション等	公開保育	幼児期に育てたい言葉 ～“遊びの保育デザイン”を通して～	平成27年度より、遊びの中の言葉をめぐる様々な事例から、言葉の育ちの道筋や特徴、言葉を育むための援助や特徴、言葉を育むため援助や環境構成の在り方について研究を行ってきた。3年次は、新幼稚園教育要領の趣旨を踏まえながら、これまでの言葉を育む遊びや体験を教育課程に位置づけたをもとに、言葉を育む保育の在り方について研究を行っている。
山形大学附属小学校	6月15日(木) 6月16日(金)	午前:授業・全体会 午後:話し合い・講演	各教科	「たくましさ・しなやかさ」が育つ ～各教科・領域等の本質に迫る個々の子どもの問題解決～	本年度は、各教科・領域等の本質に迫る問題解決に子どもが主体的に取り組む授業を通して「たくましさ・しなやかさ」にあふれた人間性・生き方を身につけていく学びの在り方について研究を行っている。
山形大学附属中学校	5月25日(木) 5月26日(金)	午前:授業 午後:分科会	各教科	未来を創る豊かな学びの探究 ～教科を中心に育む資質・能力～	確かな学びを育み、学力向上を図る(学び:スタディ)、思いやりのある豊かな心の育成(交流:コミュニケーション)、体力の向上を図り、健やかな体を育てる(生命:ライフ)の三つの柱のもと、本年度は、「学びの意味を実感し、よりよいものを求めて探究し続ける生徒」の育成を目指して研究を行っている。